

電気工事業者さまへ

設置場所の選択について

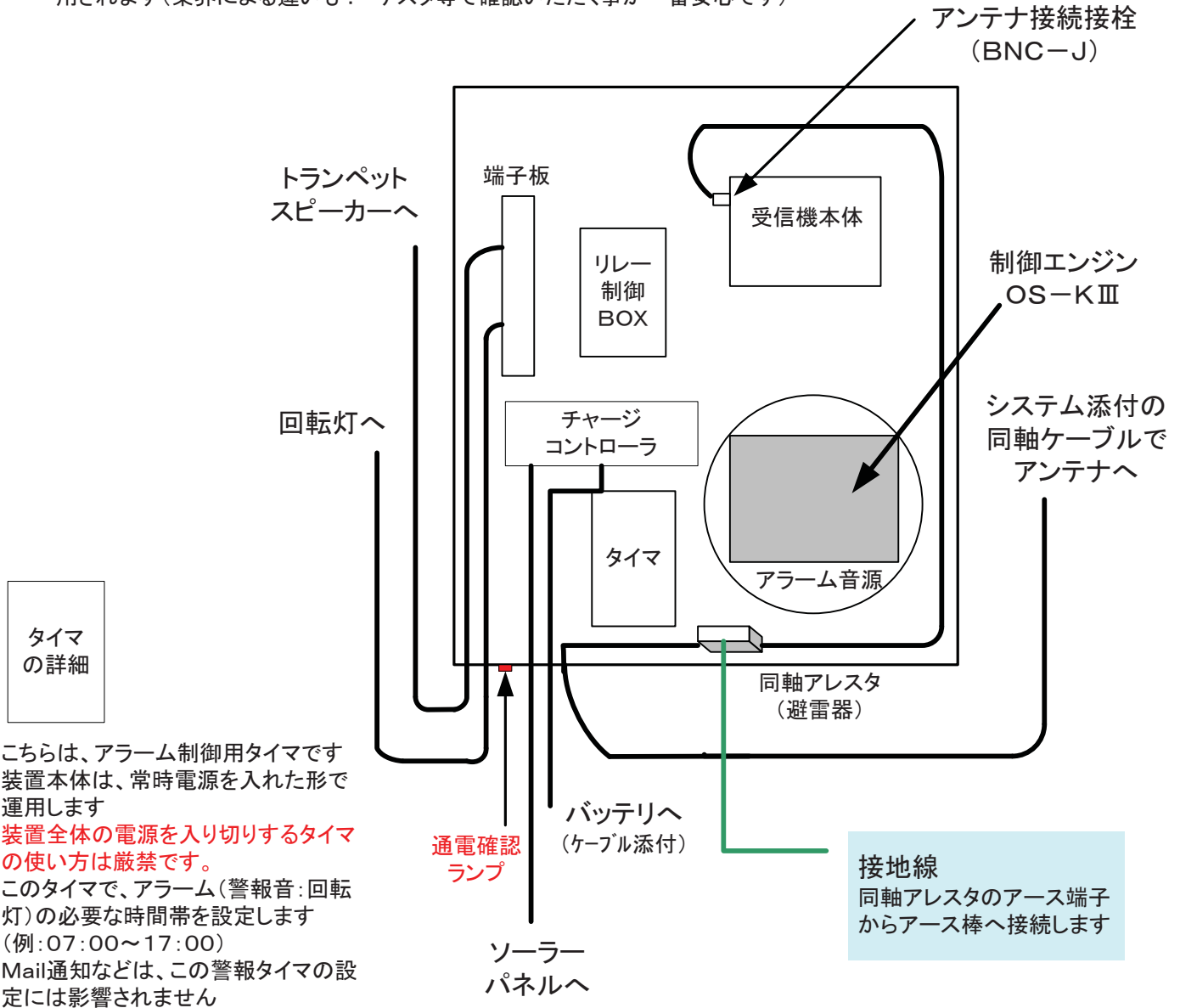
テレメトリ発信器から送信される弱い電波信号を受信して機能しますので、なるべくノイズ源から離れた場所への設置が望ましいです(なるべく受信感度を落とさたくありません)

幹線道路・あるいは生活道路沿いであれば、いわゆる生活から発生するノイズが原因の問題・・・相対的に感度低下となる可能性が生じます(本システムにおいては、誤作動の原因にはなりません)。

サル接近警戒システム＝猿人善快v3＝DCモデルの配線

DC(直流)ですので極性には十分お気を付け下さい

ケーブルが、赤／黒の場合、黒がマイナスですが、白／黒の時は黒がプラスに使用されます(業界による違いも！ テスタ等で確認いただく事が一番安心です)



・本体収納BOXは、日東OP20-45です

全体は、バッテリーを含め金属キャビネットOR25-69に収納します(総重量:約90Kg)

OR25-69を支柱に取付ける金具はシステムには含まれません(手配をお願いします)

・アンテナ、及び回転灯には、φ60以下のパイプに取り付けできる金具を添付します

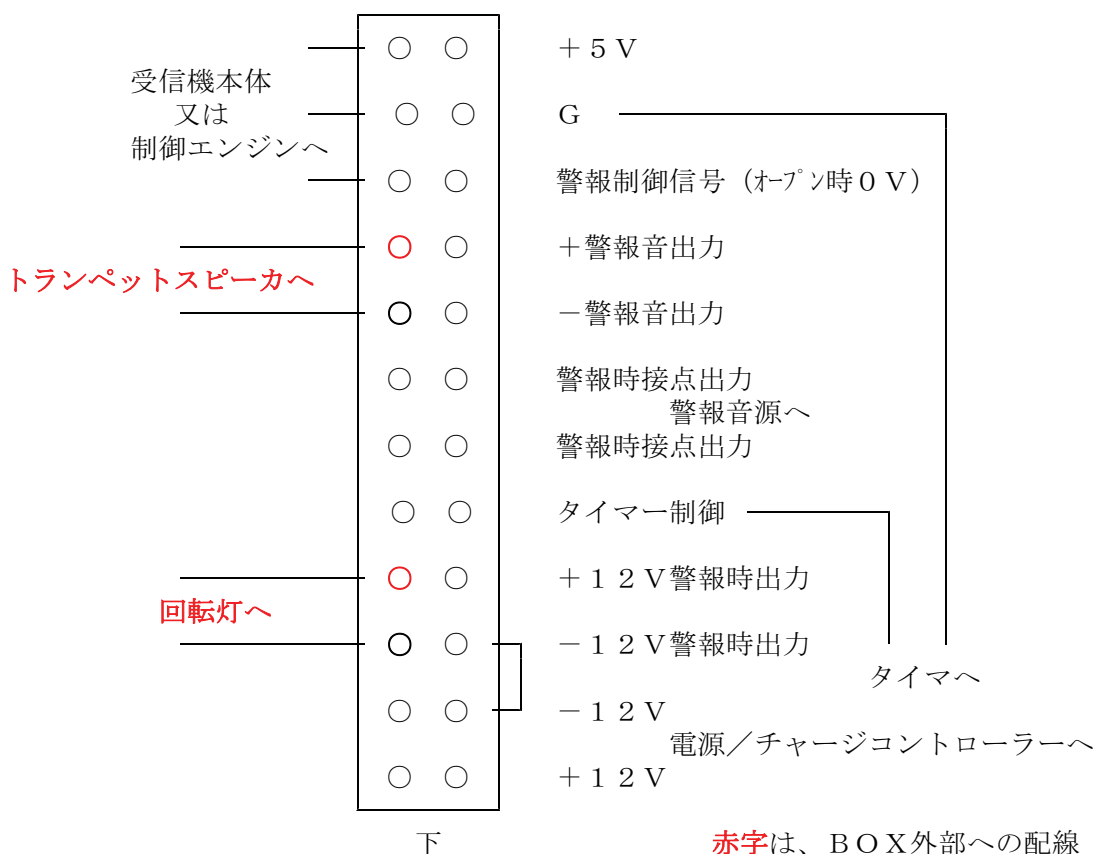
専用ソーラー・パネル架台のサブポールに、取り付けることができます

・トランペットスピーカーは、BOXか支柱にお客さまのご希望になる方向に向けて取り付けます
(ビス止め、もしくはステンレスバンド等で固定して下さい)

・アースですが、φ10x900mm程度のアース棒を打ち込んでいただければOKです(草苻等に留意)

・BOXから外に出る配線は、上記の通りです(携帯電話網を利用する場合は、アンテナを外付けします)
同軸ケーブル・バッテリー接続ケーブル以外は、システムに付属しません

端子板結線図



φ 3.5 の圧着端子をご使用下さい。

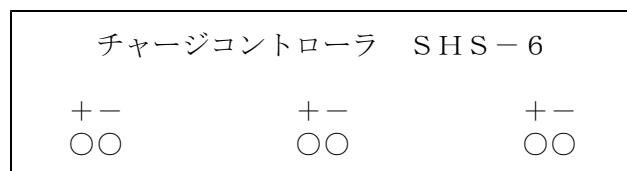
直流ですので極性の扱いには十分ご注意下さい。
弱電 / 強電の世界の違いにより表現に違いがありますので、結線に
際しましては、テスタなどで確認いただくことをお奨めします。

【例】

赤黒の場合、赤がHOT (+) 側

白黒の場合、黒がHOT (+) 側

※上記の例で、黒と黒を結線すると逆接になりますので要注意！



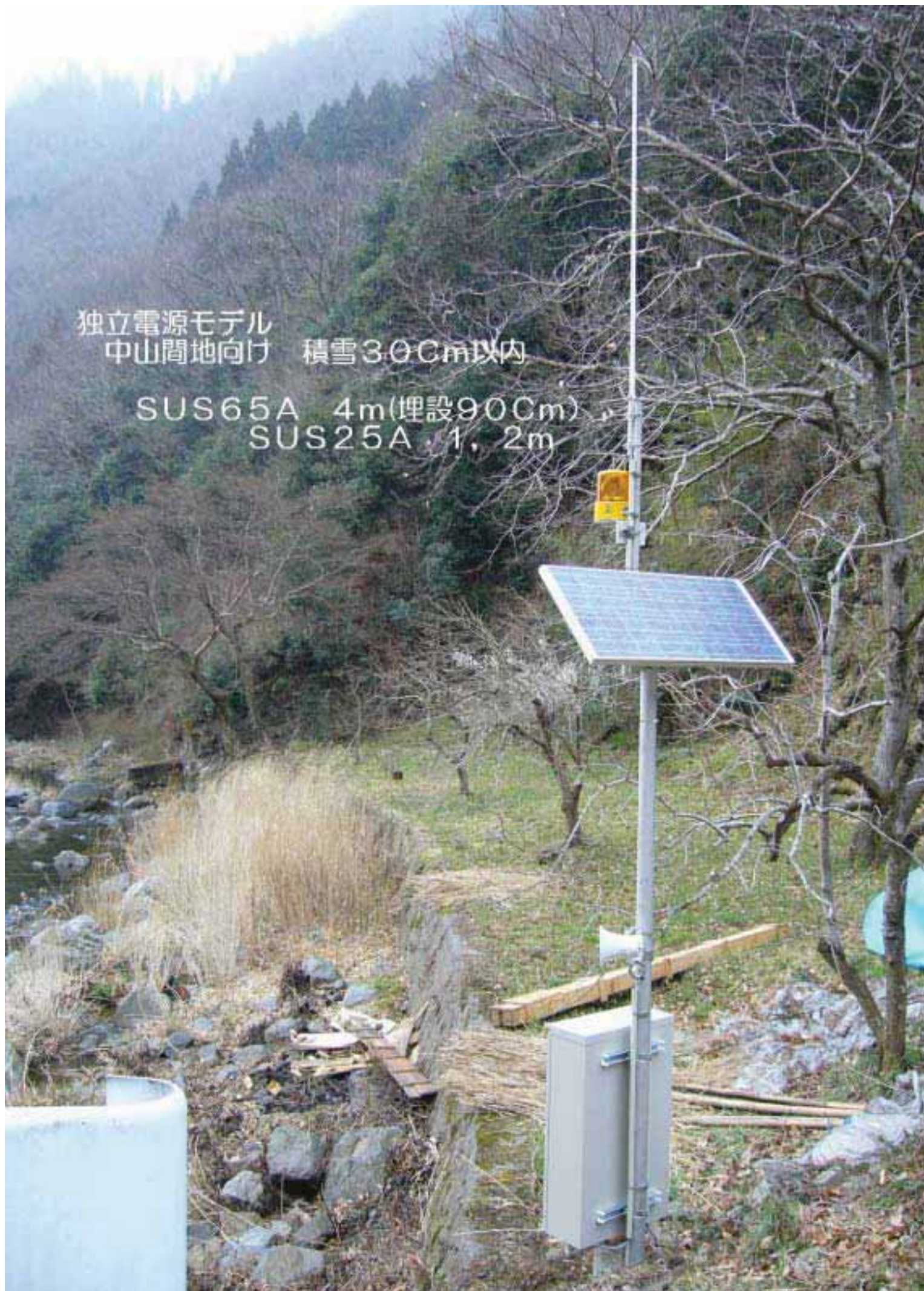
ソーラーパネルへ バッテリへ 負荷へ

小さめのマイナスドライバでネジを締めることで端子を引っ張り上げて、中に通した配線を固定する方式です。

バッテリー接続ケーブルはシステムに添付します。(バッテリー側は圧着端子、チャージコントローラー側は半田上げ)

独立電源モデル
中山間地向け 積雪30cm以内

SUS65A 4m(埋設90cm)
SUS25A 1, 2m



独立電源モデル 全容
中山間地向け(積雪30cm以内)



参考写真集(φ89独立電源型)



φ89鋼管柱 地上高4mの施工例

装置本体を収納する金属キャビネットは
地上から30~40cm持ち上げています
ソーラーパネル架台は、支柱径に関係なく共通
(取付Uボルトはφ89/127の2種を添付)

25Aのサブポールを添付(アンテナ等取付用)

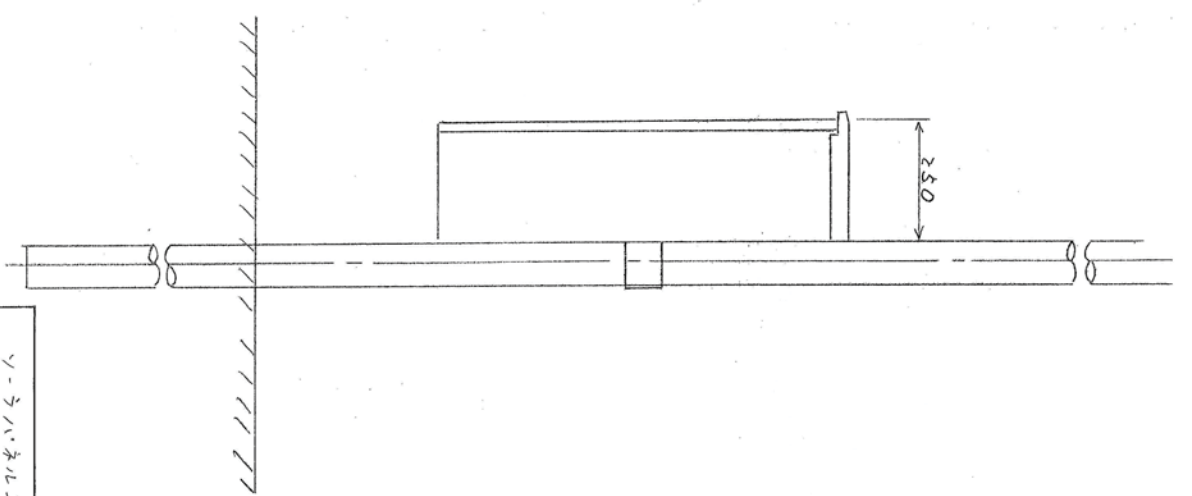
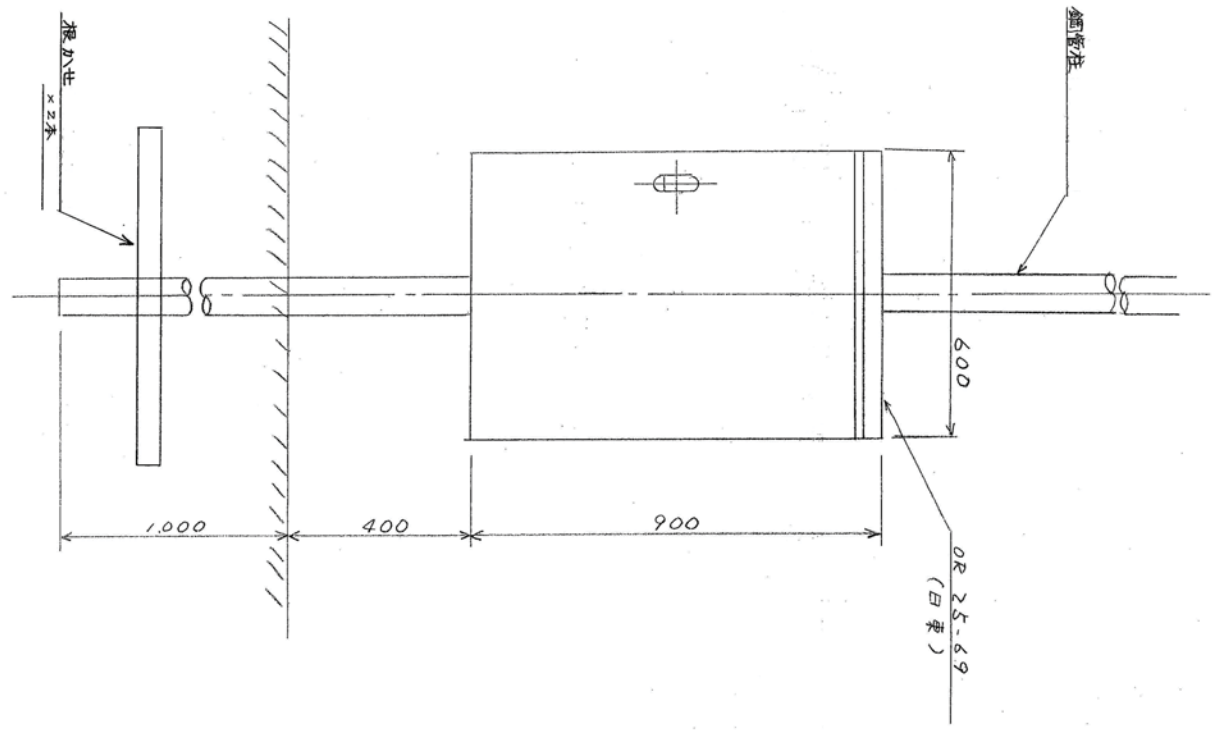


OR25-69金属キャビネットの中に、OP20-45に組み込まれた「猿人善快」を収納



キャビネットには、10年間メンテナンス・フリーのバッテリー(80Ah)2個を収納
キャビネットの総重量は90Kg程度になります

①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
⑪			
⑫			
⑬			
⑭			
⑮			
⑯			
⑰			
⑱			
⑲			
⑳			
㉑			
㉒			
㉓			
㉔			
㉕			
㉖			
㉗			
㉘			
㉙			
㉚			
㉛			
㉜			
㉝			
㉞			
㉟			
㊱			
㊲			
㊳			
㊴			
㊵			
㊶			
㊷			
㊸			
㊹			
㊺			
㊻			
㊼			
㊽			
㊾			
㊿			
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			
55			
56			
57			
58			
59			
60			
61			
62			
63			
64			
65			
66			
67			
68			
69			
70			
71			
72			
73			
74			
75			
76			
77			
78			
79			
80			
81			
82			
83			
84			
85			
86			
87			
88			
89			
90			
91			
92			
93			
94			
95			
96			
97			
98			
99			
100			



ノークレール取付 5寸 盤			
CHIEF	STAFF	DRAWING	DRAWING NO.

サル接近警戒システム＝猿人善快＝ 施工についての補足／積雪30cm未満

1. 施工に含まれる諸材料（施工業者の方に用意いただくもの）

鋼管柱 φ89 4～5m長（地中に1m埋設、地上高3～4mにパネル）
同上用寝かせ
同上鋼管柱に、日東OR25-69を取り付ける金具
アース棒（900～1000mm程度）

2. 配線に関わる諸材料

1.25x2 VCT

- ・ソーラーパネル ～ 装置本体間
- ・回転灯 ～ 装置本体間
- ・トランペットSP ～ 装置本体間

1.6～2.0 IV線

- ・アース棒 ～ 装置本体間

電線保護に必要なVP管、CD管および接続具

上記配線以外に、アンテナ用同軸ケーブル（5D-2V／装置側で用意）が1本、アンテナから装置本体間を結びます。

保護管類、およびトランペットSPを取り付けるステンレスバンド

3. 施工内容

装置重量（金属キャビネットの総重量）が約90Kg程度、ソーラーパネルおよびソーラー架台の重量が約30Kg程度ありますので、支柱径はφ89（80A）程度のもので採用、また金属キャビネットの底部を地上から積雪分+@（30～40cm程度）は持ち上げて設置することが必要です。

別紙写真のように、ブロックを2個重ねて置いておくのも「手」です。

受信アンテナ・回転灯は、ソーラーパネル架台に付属のサブポールに取り付け出来るよう金具類を添付しています。

A. 鋼管柱の建柱

- ・ソーラーパネル架台組立／ソーラーパネル&サブポールの取付
- ・アンテナ組立／付属金具でサブポールに取付
- ・回転灯／付属金具に取付後、Uボルトでサブポールに取付
- ・トランペットSPは、ステンレスバンドで取付（固定）
- ・アース棒埋設（打ち込み）

装置接続箇所までの必要配線

B. 装置本体の取付

OR25-69の中に、＝猿人善快＝本体、およびバッテリーを収納

- ・本体（OP20-45）は、キャビネット鉄製基板（2.3t）に縫いつけて下さい。

- ・バッテリーは、置くだけ／配線に必要な線材は装置に添付します。

配線の様子は、別紙を参考にして下さい。（本体側は、端子板／圧着端子です）

極性のあるものにつきましては、注意をお願いします。（直流と交流の世界では、ホット側の表現が異なるケースもありますので、テストなどで確認するなど、くれぐれも逆接をしないよう作業をお願いします。）

施工について

ソーラーパネル（架台）を支柱に取付て建柱するのが能率的かと思えます。

参考写真集(φ127独立電源型)



φ127鋼管柱による豪雪地域での施工例
装置本体を収納する金属キャビネットは
地上(GL)から150cm持ち上げています
ソーラーパネル架台は、支柱径に関係なく共通
(取付Uボルトはφ89/127の2種を添付)

25Aのサブポールをソーラー架台に添付(アンテナ等取付用)



基礎部も、地盤を見た上できちったした用意が必要です



盤の底面がGLより1500mm程度に持ち上げて
取付、それなりに丈夫な金具を使用します



OR25-69金属キャビネットに、OP20-45
に収納された「猿人善快」本体と、10年間メ
ンテナンス・フリーのバッテリー(80Ah)2個を収
納します
キャビネットの総重量は90Kg程度になります

サル接近警戒システム＝猿人善快＝ 施工についての補足／積雪150cm未満

1. 施工に含まれる諸材料（施工業者の方に用意いただくもの）

鋼管柱 φ127 5～6m長（地中に1m埋設、地上高4～5mにパネル）
同上用寝かせ＋基礎工事分
同上鋼管柱に、日東OR25－69を取り付ける金具
アース棒（900～1000mm程度）

2. 配線に関わる諸材料

1.25 x 2 VCT

- ・ソーラーパネル ～ 装置本体間
- ・回転灯 ～ 装置本体間
- ・トランペットSP ～ 装置本体間

1.6～2.0 IV線

- ・アース棒 ～ 装置本体間

電線保護に必要なVP管、CD管および接続具

上記配線以外に、アンテナ用同軸ケーブル（5D－2V／装置側で用意）が1本、アンテナから装置本体間を結びます。

保護管類、およびトランペットSPを取り付けるステンレスバンド

3. 施工内容

装置重量（金属キャビネットの総重量）が約90Kg程度、ソーラーパネルおよびソーラー架台の重量が約30Kg程度ありますので、支柱径はφ127程度のものを採用、また金属キャビネットの底部を地上から積雪分＋@（150cm以上）は持ち上げて設置することが必要です。

従いまして、**基礎工事は地盤に合わせしっかりとしたものでお願いします。**

受信アンテナ・回転灯は、ソーラーパネル架台に付属のサブポールに取り付け出来るよう金具類を添付しています。

A. 鋼管柱の建柱

- ・ソーラーパネル架台組立／ソーラーパネル&サブポールの取付
- ・アンテナ組立／付属金具でサブポールに取付
- ・回転灯／付属金具に取付後、Uボルトでサブポールに取付
- ・トランペットSPは、ステンレスバンドで取付（固定）
- ・アース棒埋設（打ち込み）

装置接続箇所までの必要配線

B. 装置本体の取付

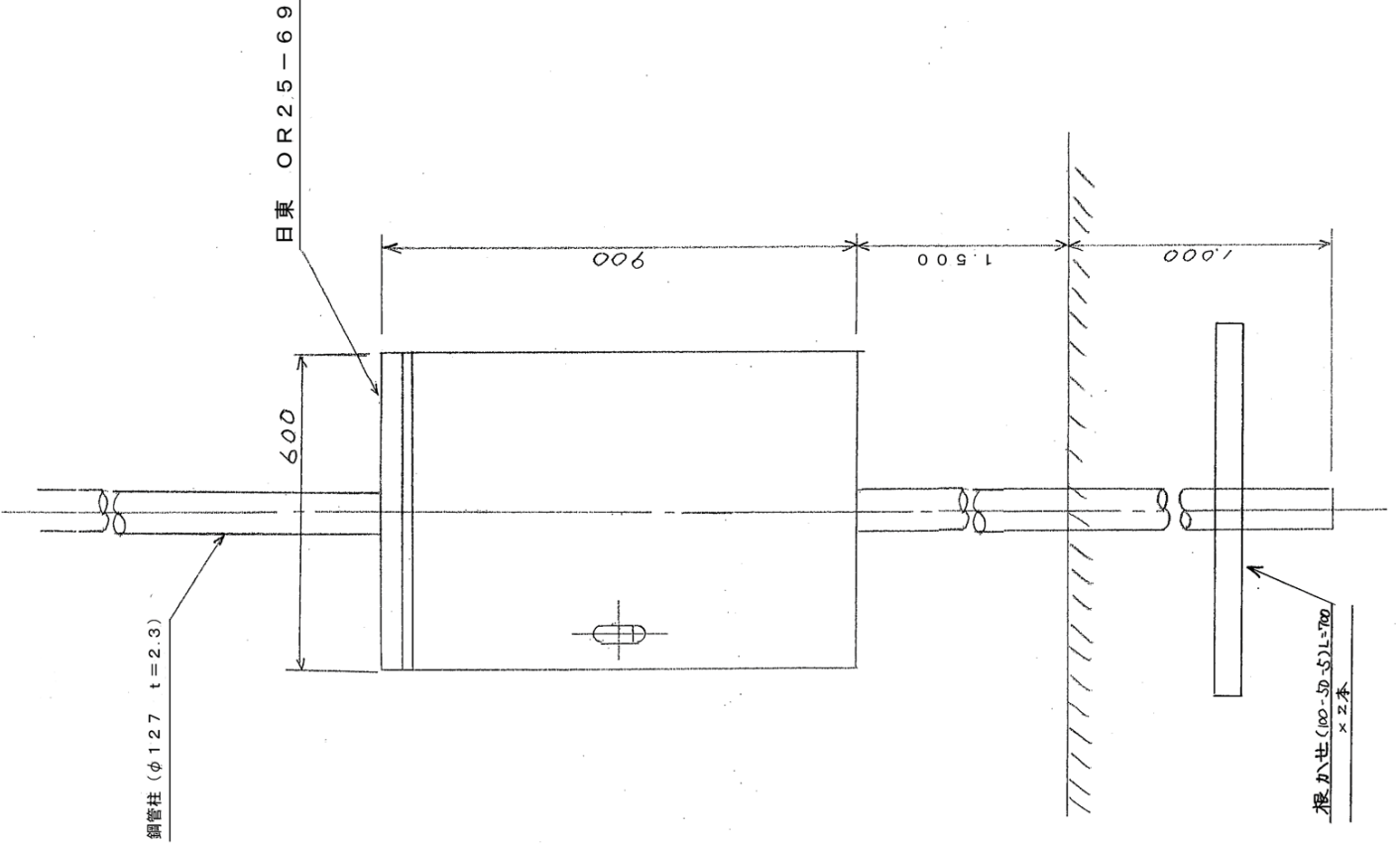
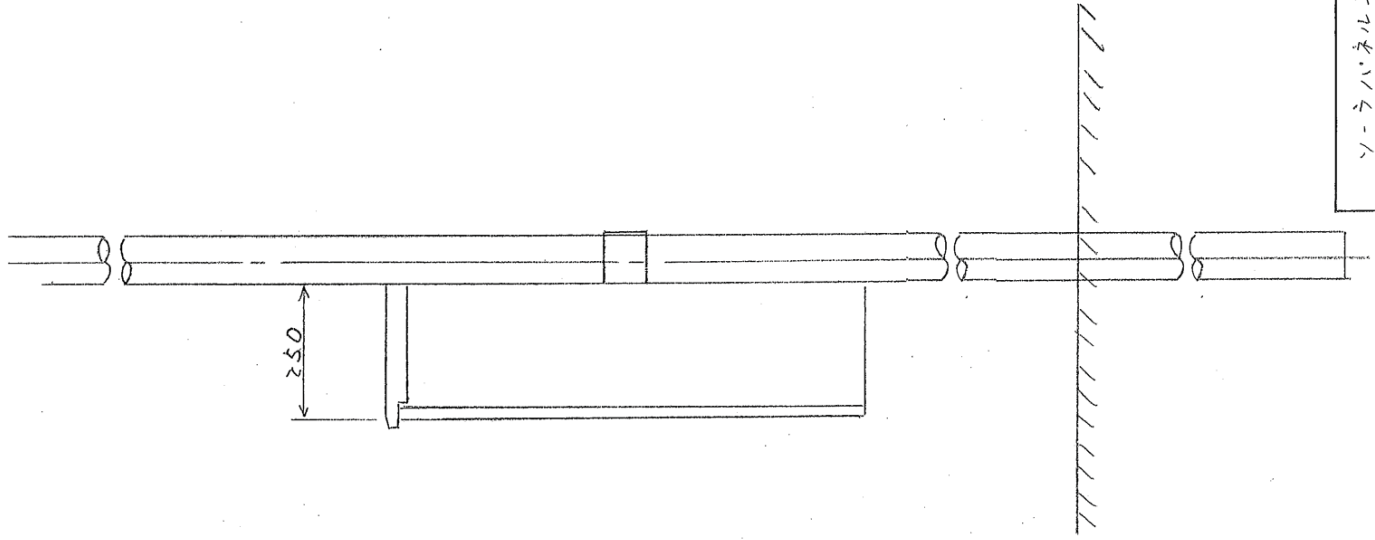
OR25－69の中に、＝猿人善快＝本体、およびバッテリーを収納

- ・本体（OP20－45）は、キャビネット鉄製基板（2.3t）に縫いつけて下さい。

- ・バッテリーは、置くだけ／配線に必要な線材は装置に添付します。

配線の様子は、別紙を参考にして下さい。（本体側は、端子板／圧着端子です）

極性のあるものにつきましては、注意をお願いします。（直流と交流の世界では、ホット側の表現が異なるケースもありますので、テストなどで確認するなど、くれぐれも逆接をしないよう作業をお願いします。）



ソノハハネル取付支柱 物盤		
CHIEF	STAFF	DRAWING NO.

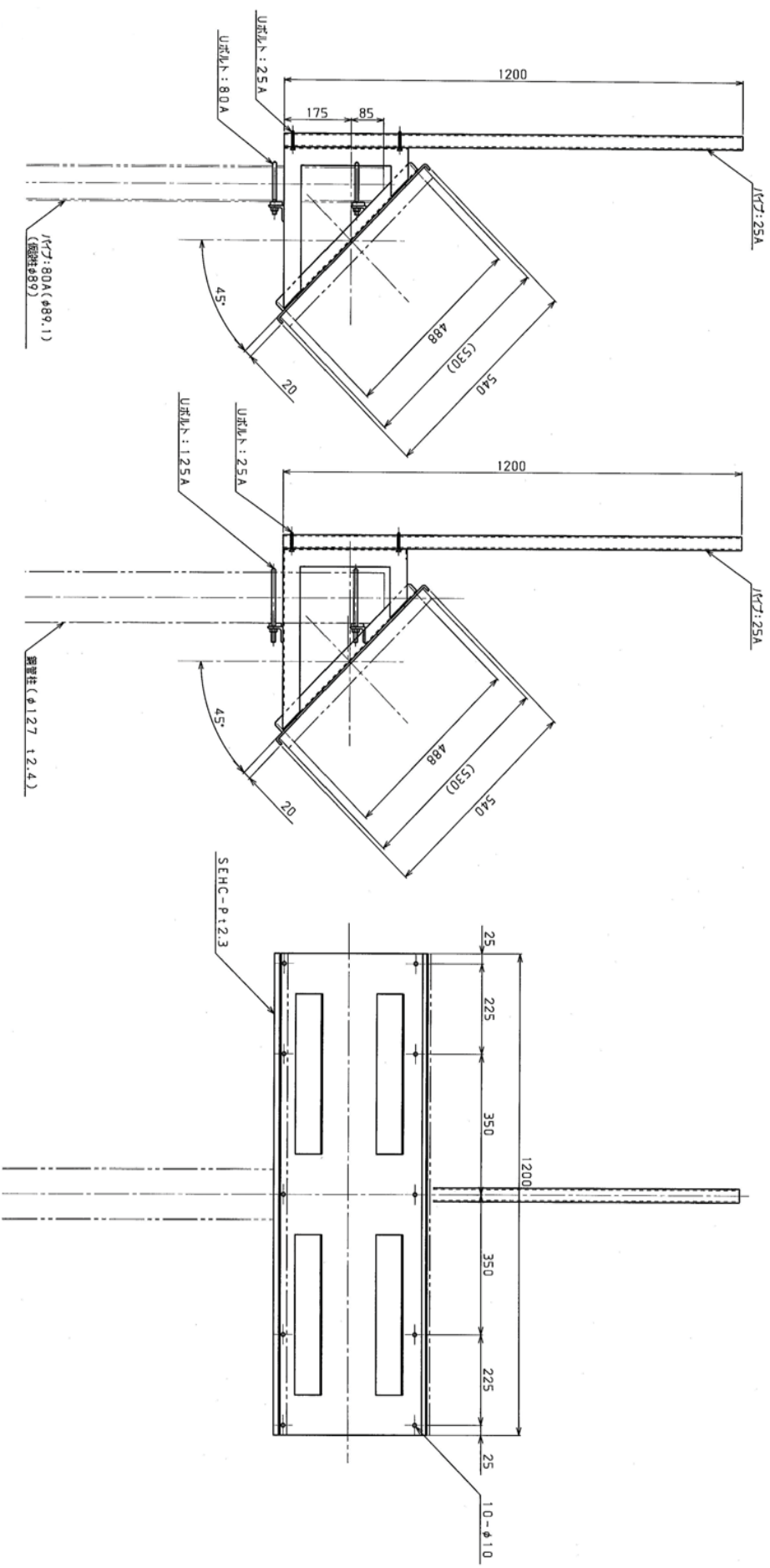
鋼管柱 ($\phi 127$ $t=2.3$)

日東 OR2.5-69

根付柱 (100-50-S)L=700
x 2本

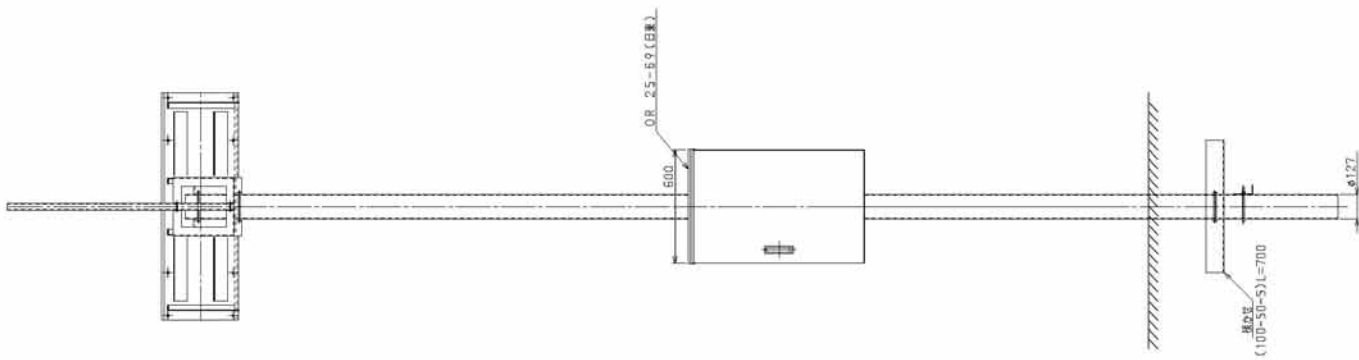
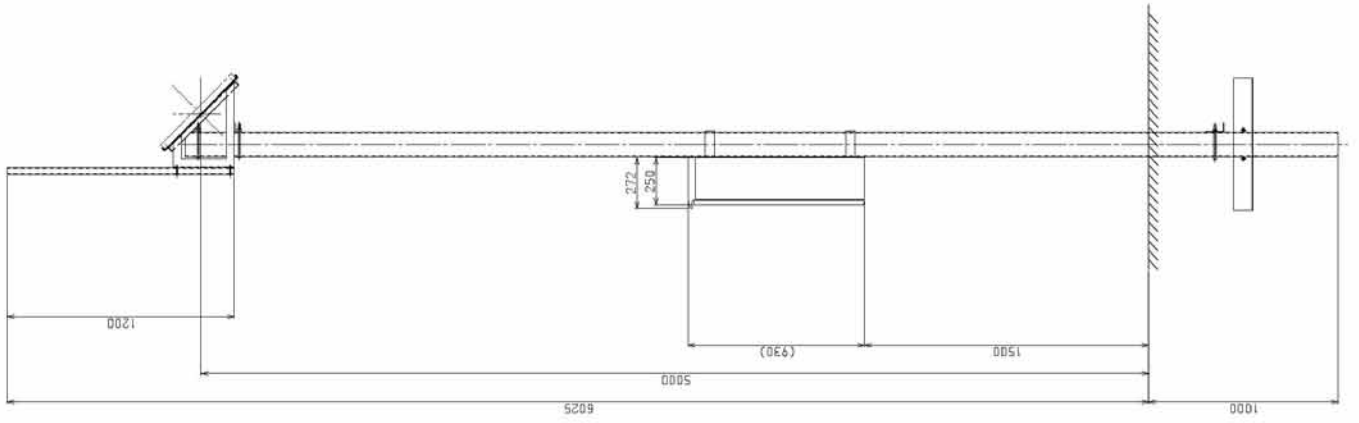
普通寸法表		精 度		(中 期)		(JIS B 0405)	
普通寸法の公差	精 度	普通寸法の公差	精 度	普通寸法の公差	精 度	普通寸法の公差	精 度
0.5以下	3μm	±0.05	±0.1	1200以下	±0.2	±0.5	±0.8
3以下	6μm	±0.05	±0.1	4000以下	±0.3	±0.8	±1.2
6以下	30μm	±0.1	±0.2	10000以下	±0.5	±1.2	±2.0
30以下	120μm	±0.15	±0.3	20000以下	±1.0	±2.0	±3.0

第3巻法



指示ナキ角部/糸面取リノット

CHIEF	STAFF	DRAWING	組立図	DRAWING NO.	8A5306-M1
ソートパネル取付台			組立図		
材質	処理	仕上	製作数	尺渡	
SS400	5Y7/1 (Zn)	25 (25)	1	1:10	



相定子半角部(八面取)ノコト

55400	517/1(5/P2)	25(△)	1	1:20
材質	地盤	仕上	製作数	尺取
全体図				
CHIEF	STAFF	DRAWING	DRAWING NO.	